

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

市長公室秘書広報課 (単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	40,534	コスト	成果	
1772 市政功労者表彰事務	142	→	↑	511-01
1776 ラジオ広報事業	3,050	→	↑	613-01
1777 ホームページ管理運営事業	2,112	↑	↑	613-02
1778 広報きりしま発行事業	35,230	→	↑	613-03

1. 基本情報							
事務事業名 1772 ー 市政功労者表彰事務							
政策名 5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)				所属 秘書広報課			
施策名 1. 活力ある地域づくりの推進							
基本事業名 1. 市民活動の支援と協働の推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①自治会加入率の向上を図るための調査・研究を進めるとともに、地区自治公民館・自治会・市民団体等との連携・協働体制の強化を図り、市民参画によるまちづくりを推進します。 ②「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として、「道義高揚・豊かな心推進大会」など道義高揚に関するイベント内容の充実や市民総参加による「ふれあいボランティア」等の推進により、地域社会を形成する市民意識の醸成を図ります。			算	款	02	総務費
				科	項	01	総務管理費
				目	目	01	一般管理費
				事業期間 平成19年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市民表彰に関する規則、霧島市民表彰実施要綱
	①自治会未加入者・市民・団体 ②市民		①自治会に加入してもらう ①地域活動に参加してもらう ②道義高揚の意識を高めてもらう		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
本市の行政、教育、文化、スポーツ、保健福祉、産業経済、社会活動及びその他の公益の事業に関して、著しい功績のあった個人又は団体を表彰し、その功績を讃え、市民のまちづくりへの意識の醸成を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	対象者数	人・団体	25	52	11	94
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	功績を称える	平成19年以降の延べ被表彰者数	人・団体	1,963	2,015	1,974	2,068
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		235	142	621	功績部門(3名)、永年勤続部門(3名)、優秀成績部門(5名)、特別表彰(0名) 計11名
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	235	142	621	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	翌年度以降も、様々な分野での功績や成績を収められた市民を表彰することで、市民一体となった意識の醸成が図られるように、公平性を確保しながら実施する。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 1776 - ラジオ広報事業							
政策名 6. しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)				所属		秘書広報課	
施策名 1. 市民の視点に立った行政サービスの提供							
基本事業名 3. 市民と行政による情報の相互活用				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①誰もが行政情報を受け取れるように、市の広報誌やホームページのほか、SNS・動画等の様々なツールを活用して、積極的かつ魅力ある情報発信や情報公開に努めます。 ②市長が市民と対話する機会や、パブリックコメントなどの様々な広聴機能を活用して、市民ニーズの的確な把握に努めます。			算	款	02	総務費
				科	項	01	総務管理費
				目	目	05	広報広聴費
				事業期間 平成17年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②市民		①行政情報を知ってもらう ②意見が市政に反映される		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

FMきりしまと契約し、市政情報をはじめ、観光情報などを放送する。◎FMきりしま(平成25年6月開局)・放送日時:毎週月曜日～金曜日、午前8時～、午後5時30分～(10分間)・番組名:知っ得情報!クロスきりしま・市担当課職員などがパーソナリティーとの対談形式で発信したい情報を収録。・イベントの中止や台風接近に伴う情報等を随時放送。緊急時は市が直接割り込み放送を行うことが可能。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 市の情報を知ってもらう	放送回数(FMきりしま)	回	260	260	260	260
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		3,050	3,050	3,050	・市政情報番組を通して、市民生活に必要な情報を発信することができた。 ・広報誌に掲載した記事について、併せて関係課によるFMきりしまでの告知を行った。 ・FMきりしまは、台風等の災害時の情報収集手段としても有効なことから、きりしま防災・行政ナビとあわせて広報誌で取り上げ、市民の利用推進を図った。 ・台風時の避難情報などをリアルタイムで発信することができた。 ・FMきりしまと連携し、ラジオアプリのプッシュ通知機能を活用し、清掃センターの故障の情報などを発信した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	3,050	3,050	3,050	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	・FMきりしまは、ラジオのほかスマートフォン用アプリによって聴取できる環境が向上していることから、引き続き市民に対し、市政情報や災害時の避難情報などを得るために有効な手段であることを周知し利用増と定着を図る。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報							
事務事業名		1777 - ホームページ管理運営事業					
政策名		6. しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)		所属		秘書広報課	
施策名		1. 市民の視点に立った行政サービスの提供					
基本事業名		3. 市民と行政による情報の相互活用		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①誰もが行政情報を受け取れるように、市の広報誌やホームページのほか、SNS・動画等の様々なツールを活用して、積極的かつ魅力ある情報発信や情報公開に努めます。 ②市長が市民と対話する機会や、パブリックコメントなどの様々な広聴機能を活用して、市民ニーズの的確な把握に努めます。	算	科	目	款	02	総務費
					項	01	総務管理費
					目	05	広報広聴費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②市民		①行政情報を知ってもら ②意見が市政に反映される		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市ホームページの管理運用を行うほか、電子版広報誌やイベントカレンダー、バナー広告掲載などを行う。また、市の行政情報を迅速、的確、効果的に提供するため、各課の管理担当者を対象にホームページ作成操作研修を実施する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	市の情報を知ってもら	公開ページ数	ページ	6,059	7,500	6,035	7,500
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		2,190	2,112	1,969	・職員向けに操作研修を行い、積極的な情報発信を呼び掛けたことで、情報発信量が増加した。 ・各課に対し、各公開ページのリンク先チェックや不要となったページの削除、改善を促し、正確な情報発信に繋がった。 また、情報更新に対する職員の意識向上に繋がった。 ・外部の自動翻訳サービスを活用し、248カ国語に対応した。 ・見やすいホームページの一環として、ユニバーサルデザインフォントを導入した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,980	1,584	1,969	
	一般財源	210	528	0	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・ホームページは市の情報を発信する最大のツールであり、24時間世界中で閲覧できることから、全職員に対し、迅速に正確かつ細やかな情報発信を行うように徹底させる。 ・ホームページ担当者・新規採用者を対象とした操作研修会を開催する。 ・ページエラー等を定期的にチェックし、担当課への改善指導を行い、適切な情報発信への意識向上を図る。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報								
事務事業名		1778 - 広報きりしま発行事業						
政策名		6. しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)		所属		秘書広報課		
施策名		1. 市民の視点に立った行政サービスの提供						
基本事業名		3. 市民と行政による情報の相互活用		予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①誰もが行政情報を受け取れるように、市の広報誌やホームページのほか、SNS・動画等の様々なツールを活用して、積極的かつ魅力ある情報発信や情報公開に努めます。 ②市長が市民と対話する機会や、パブリックコメントなどの様々な広聴機能を活用して、市民ニーズの的確な把握に努めます。		算	科	項	02	総務費	
						目	01	総務管理費
							05	広報広聴費
						事業期間		昭和26年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
	①②市民		①行政情報を知ってもら ②意見が市政に反映される		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

毎月2回発行。行政情報の周知を図るために手にとってもらえる広報誌を目指している。
○上旬号(カラー)＝市政方針、特集、歴史、自然、健康、子育て、環境、ジオパーク・湾奥情報などを掲載。読者コーナーでは市民の意見などを掲載。市をPRする絵はがきや市内店舗で利用できるクーポン券を添付
○お知らせ版(2色刷り、4月と1月を除く)＝行政、各種団体からのお知らせ、出生・死亡の案内、保健情報などを掲載。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	市内の対象世帯	世帯	57,323	57,193	57,700	57,505
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	市の情報を知ってもら	広報誌を配布している世帯の割合	%	66	71	68	71
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		33,127	35,229	38,502	・特集記事を編集し、市民に呼び掛けを行った。 (市のごみ事情、介護予防、夏祭り、宝暦治水270年、認知症、目の愛護デー、霧島山、焼酎、民生委員・児童委員など) ・令和6年度県広報コンクールにおいて、広報誌部門及び1枚写真部門で入選に入賞した。広報誌部門は全国コンクールへ推薦され審査される予定。 ・絵はがき、読者クーポンをはじめ広報誌に対し、読者から「毎月楽しみにしている」「内容が充実している」といった評価をいただいた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	6,646	6,378	6,259	
一般財源		26,481	28,851	32,243	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・引き続き、市民が手に取り読んでもらえるような広報誌を目指して、他自治体の広報誌などを参考にブラッシュアップを図る。 ・誌面作りに必要な企画・構成力、文章作成力、撮影技術の向上など、職員のスキルアップに努める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	